

社会学演習Ⅳ

科目ナンバリング SEM-402
必修 2単位

木下 浩一

1. 授業の概要(ねらい)

本演習では、参加者の興味関心にしたがい、各自のゼミ論文執筆に向けて報告・議論を行います。

*本演習は対面を想定していますが、新型コロナ・ウィルスの状況によっては、オンラインとなる可能性があります。

2. 授業の到達目標

自らの関心／テーマ／問いを絞り込み、より質の高いゼミ論文を執筆する。

3. 成績評価の方法および基準

報告・プレゼンテーションの内容(25%)と、毎回の議論への参加状況(25%)を加味した上で、最終的にはゼミ論文(50%)をもって評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

*特になし

参考文献

藤田真文 『メディアの卒論』 ミネルヴァ書房、2016年

浪田陽子・福岡良明 『はじめてのメディア研究』 世界思想社、2012年

5. 準備学修の内容

【発表を担当する回】ゼミ論文について、ハンドアウト(レジュメなどの配布資料)を作成し、報告を行なってもらいます。

【担当しない回】報告者のプレゼンテーションを受け、議論に参加してください。

6. その他履修上の注意事項

▼他の報告者のプレゼンテーションも、他人事(ひとごと)ではなく、自分が担当しているかのように参加してください。「引き受ける」態度は、学問においても仕事においても重要です。

▼この科目は今般の情勢に対応して履修者の制限をする可能性があります。履修登録にあたっては大学のホームページの<インフォメーション>で関連情報を確認してください。

7. 授業内容

【第1回】 ガイダンス、イントロダクション【開講はLMSになります。対面では行いません】

【第2回】 ゼミ論文の執筆方針を発表(1)(履修者全員)

【第3回】 ゼミ論文の執筆方針を発表(2)(履修者全員)

【第4回】 発表とディスカッション(1)

【第5回】 発表とディスカッション(2)

【第6回】 発表とディスカッション(3)

【第7回】 発表とディスカッション(4)

【第8回】 発表とディスカッション(5)【開講はLMSになります。対面では行いません】

【第9回】 発表とディスカッション(6)

【第10回】 発表とディスカッション(7)

【第11回】 発表とディスカッション(8)

【第12回】 発表とディスカッション(9)

【第13回】 発表とディスカッション(10)

【第14回】 発表とディスカッション(11)

【第15回】 ふりかえり